

子供サミットで 学んだこと

12月4日(月)

子どもサミットでは、区立小・中学校から2名ずつ代表の児童・生徒が集まり分科会に分かれて「SNSによるいじめをどう防ぐか」について話し合いました。当日は分科会の司会と御成門小の取り組みの発表を担当しました。分科会では、その場で意見を考えて発表することが大変でしたが、他の考えも聞くことができ、良い経験になりました。

SNSを利用することは、書き込んだ一言に大きな責任をもつことを学びました。

(6年児童：中村 沙央)

子どもサミットではSNSルールについて他の学校の代表の人たちと話し合いました。他の学校の意見を聞いているうちにSNSによるいじめは絶対にしてはいけないことだと思えるようになりました。知らないうちに人の心を傷つけないようにするためにも自分の行動を考えていけるようにしていきたいです。

(6年児童：橋本 武)



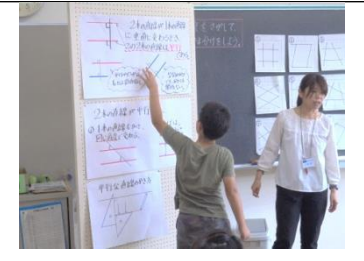
総合的な学習の時間(4・5年生)

プログラミングにチャレンジ!



4・5年生は総合的な学習の時間にタブレットを使い、ビジュアルプログラミングツールである「SCRATCH(スクラッチ)」を活用してプログラミング教育に取り組んでいます。アイデアを形にする力・創造力と物事を順序立てて考える力・問題解決能力・論理的思考力を、楽しみながら身に付けることを目標としています。

今回は東京学芸大学附属高校の皆さんをゲストティーチャーにお招きして学習しました。子供たちは簡易的なゲームを夢中になってプログラミングしました。高校生がプログラミングしたゲームを紹介してもらい、よりプログラミングに興味をもった様子でした。(5年担任：大野 航)



校内研究

本校の研究について



今年度から、研究主題「主体的に考え、学び合う児童の育成」をめざし、算数の授業を通して、研究を進めています。主題の中で、今年度は「主体的に考える」という部分に重点を置き、一人一人の児童が考えを主体的にもてるため

の指導の工夫を考えながら、全教員、毎時間の授業に取り組んでいるところです。

算数の1時間は、「課題把握」→「解決の見通し」→「自力解決」→「集団検討」→「まとめ」→「振り返り」という過程を通して学習を行っています。今年度は、「主体的に考える」児童を育てるために、「課題把握」、「解決の見通し」に焦点をあて、一人一人の児童が課題を正確に把握し、自力解決に至るためには、どのようにしたら「解決の見通し」をもつことができるのか、

研究をしています。

4月からの研究授業の取組の中で、「解決の見通し」の段階で、既習事項を丁寧に押さえる、いつでも子供たちが確認できるように教室に既習事項を掲示する、自分が書いたノートが自力解決の一つのアイテムとして活用できるようノート指導を丁寧に重ねていく等について日々実践を重ねていくことが、「主体的に考える」児童の育成につながっていることが見えてきました。(研究主任：町田 真由美)

総合的な学習の時間(3年)

不思議がいっぱい 発泡スチロール実験

12月19日(火)にTOHO工業の方々をお招きして、発泡スチロールの仕組みや、会社の様子についてお話いただきました。発泡スチロールの特徴がよくわかるように2つの実験をしていただきました。

一つ目は衝撃を吸収する実験です。発泡スチロールの箱の中に生卵を入れ、箱をテープで

とめます。箱をどんなに強くたたきつけても中の卵はわれません。実験を見たときは、どの児童もとても驚いていました。

二つ目は発泡スチロールを作る実験です。もとなるプラスチックを熱湯で温めます。するとプラスチックは膨らみ、型に合わせて敷き詰められて出来上がります。どの児童も出来上がった様子に興味深そうによく見ていました。

2月には実施できなかった1組での授業を行うとともに、両方の学級で今回の続きの授業を行う予定です。(3年担任：大阿久 孝子)



保健室

計測時の保健指導



年に3回の身体計測の時間を利用して、保健指導を行っています。短い時間なので印象に残るよう、資料を工夫したり、実際に声を出したり体を動かしたりしています。1月は手洗いの歌に合わせて正しい手洗いの実践をします。

かぜをひいた人と同じ部屋にいただけでは他の人にうつりにくいのですが、トランプで遊ぶと次々にかぜがうつったという実験データもあります。かぜは手から他の人にうつっていくこともあるのです。

学校の水道は冷たいのでついおっくうにな

りがちですが、石けんをつけた正しい手洗いがかぜや胃腸炎を予防してください。

このような指導を通して、子供たちに自分の体に関心をもち、毎日を健康に過ごすことができるような取組を今後も継続していきたいと思えます。

(養護教諭：大竹 千登勢)



赤十字募金活動(代表委員会)

届けよう

みんなの思いやり



12月13日(水)~15日(金)

今年、東日本大震災で被災された方への募金活動を行いました。

募金活動を始める前に、代表委員から、東日本大震災の被害の様子や、今も復興の途中であることを全校児童に伝えました。低学年にとっては、自分たちが生まれた頃に起きた災害で

す。写真などを見て驚いた様子でした。

募金活動を行った3日間、代表委員会の呼びかけに応じて、たくさんの子供たちが募金をしてくれました。小さな手に大事なようにお金を握りしめ、そっと箱に入れたあと、少し照れたようにはにかむ姿が見られました。この募金が、被災地や困っている方に思いを寄せるきっかけになればと思います。

募金額は43,220円になりました。ご協力ありがとうございました。募金していただいたお金は、代表委員の子供たちが、赤十字社に届けに行きました。(児童会担当：市川 倫子)



花壇づくり(3・4年生)

芝公園の花壇に 花を植えました



中学年は、年に2回、芝公園で花壇づくりのボランティアをしています。園内の植物や生き物の様子も楽しみながら、花の苗を花壇に植えていきます。

係の方の説明を聞いた後、植栽開始です。

まず、目印が立ててある場所に穴を掘ります。次に苗を入れ、最後に土をかぶせます。子供たちは、「ポットから出すのが難しい。」などつぶやきながらも、苗をそっと置き、葉に土がかからないように気を付けて植え替えをしました。「植物の植え方が分かった。」という子供もいました。

春に植えた苗は、マリーゴールドとペゴニア、冬は、パンジー、ピオラ、シクラメンでした。できあがった花壇を見て、「たまには見に来ようかな。」「きれいに咲くといいな。」などの感想がきかれました。芝公園にお立ち寄りの際は、ぜひ、花壇をのぞいてみてください。

(4年担任：緒方 理子)

